

施工手順書

1.着工前(確認事項)

- 1) 路面から斜壁までの高さ
→110mm未満の場合は受枠が入らない為、別途打合せ必要。
- 2) 斜壁の種類・・・組立マンホール又はJIS型マンホール
→JIS型マンホールであればあと施工アンカーの準備が必要
- 3) 調整リングの有無と厚み
→ラウンドベースの使用量算出
- 4) 既設のアスファルト舗装の厚み
→最大切断可能深さ150mm。それ以上はブレードによる掘削。



2.切断準備・・・カッターの取り扱いについてはカッター付属の取り扱い説明書を必ずお読みください

- 1) GMラウンドカッターにφ1280用又はφ1050用のプレートを取付けます。
- 2) エンジンベースをφ1280用又はφ1050用にセットします。
- 3) ボールタンクに水を入れます。
- 4) 無鉛ガソリンを入れます。



3.センタリングプレート設置

・・・カッターの取り扱いについてはカッター付属の取り扱い説明書を必ずお読みください

- 1) センタリングプレートを蓋中心に置きます。
- 2) コンクリート釘をプレート先端の穴に打ち込み固定します。



打ち込み時に釘が飛散する可能性がありますので、指で釘を押えて石頭ハンマーで軽く打ち込んだ後、指を離して更に打ち込んでください。



4.GMラウンドカッターの位置合わせ

・・・カッターの取り扱いについてはカッター付属の取り扱い説明書を必ずお読みください

- 1) センタリングプレートの中心にGMラウンドカッターの回転軸中心を合せます。
- 2) 回転軸にボルトを取付けます。
- 3) ボルト設置後、GMラウンドカッターを一回りさせてガタツキの有無やスムーズに回転するか等の確認をしてください。



5.舗装切断・・・カッターの取り扱いについてはカッター付属の取扱説明書を必ずお読みください

- 1) エンジン始動後、水タンクのコックを開きます。
 - 2) プレート昇降ハンドルを路面より50mm迄ゆっくり下げます。
 - 3) 回転方向(左回り)に少しずつカッターを回して切断します。
- ※最大切断深さは150mm迄です。



1回(周)で50mm以上切断すればプレートの消耗が激しくなりますので1回の切断深さの目安を50mm迄とします。



6.路面清掃

- 1) センタリングプレートを釘抜き用バーで取り外します。
- 2) 散水しながらブラシ等で泥水を洗い流します。



泥水は側溝又はマンホールの中へ流さず掘削残土と一緒に搬出してください。



7. 舗装剥ぎ取り

- 1) フレーカー等を使用し舗装版を破碎・剥ぎ取ります。
- 2) マンホールふた周囲の碎石、土砂を取り除きます。



舗装版破碎時、通行車輛・人に舗装屑が飛び散る可能性がありますので十分注意してください。



8. マンホールふた撤去、掘削

- 1) 受枠固定用ボルト・ナットを外します。
- 2) マンホールふたを撤去します。
- 3) 調整モルタル部を撤去します。



モルタル・碎石等の研りガラをマンホール内に落さないでください。



9. 斜壁上面清掃

- 1) 外周の土砂/碎石等を除去します。
- 2) 斜壁上面およびマンホール内面をブラシ等で清掃します。
- 3) 舗装切断面および路面をブラシ等で清掃します。



10. しっかりアンカー施工・・・削孔

※組立マンホールの埋め込みナットが再使用可能な場合は不要。

- 1) 役所指定の蓋開閉方向を確認後、受枠を斜壁上面に仮置きします。
- 2) アンカー位置(3箇所)決定後ハンマートリルで斜壁上面に削孔します。

ドリル径：φ25mm，削孔深さ：約90mm



削孔時にドリル先端が斜壁内部の鉄筋に当たり、ドリル本体が回転し怪我をする可能性がありますのでドリルは両手でしっかり持ってください。



11. しっかりアンカー施工・・・樹脂充填

- 1) 削孔穴をブラシ、ブロワー等で十分清掃します。
- 2) 樹脂接着アンカーを注入します。(約25cc)
※ディスペンサーのトリガーを3回引くと約25cc注入できます。



樹脂接着アンカーは使用上の注意事項を熟読の上ご使用ください。



12. しっかりアンカー・・・アンカー設置

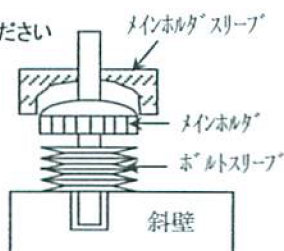
- 1) 樹脂付着防止フィルムを締付治具で挟みしっかりアンカー(M16)を削孔穴に挿入します。
- 2) 削孔穴から接着樹脂がはみ出しているのを確認してください。
※樹脂が不足している場合は、追加充填してください。
- 3) 締付治具をスパナで固定し、六角棒レンチを反時計回りに回してしっかりアンカー内部の糸を締め込みます。



13. 緊結ボルトセットの取付け

…緊結ボルトセットの取扱いは緊結ボルトセット付属の取説をお読みください

- 1) あと施工アンカーにM16緊結ボルトを取付けます。
- 2) 緊結ボルトをスパナで十分締め込み固定します。
- 3) ボルトスリーブを調整高さと同じ長さで切断します。
※切断位置は蛇腹の山を切断します。
- 4) ボルトスリーブをボルトに挿入後メインホルダを取付けます。
- 5) メインホルダの上からメインホルダスリーブを被せます。



14. 受枠高さ調整

…緊結ボルトセットの取扱いは緊結ボルトセット付属の取説をお読みください

- 1) 受枠を仮置きします。
 - 2) メインホルダを回しながら受枠の高さを調整します。
 - 3) 高さ決定後サブホルダを取付けナットをスパナで十分締め付け回り止めキャップを取付けます。
- ※受枠設置方向に間違いがないか受枠蝶番方向を確認してください。



15. 緊結ボルト切断

ディスタグライダにて受枠上面より約50mm下でボルトを切断します。



16. 内型枠装着・鉄筋設置

- 1) 内型枠の継ぎ目を合わせ、調整部内面に内フォームを曲げながら挿入します
- 2) 内型枠の飛び出し部を押し込み、内周に密着させます
- 3) 鉄筋の切り欠き部3箇所をボルト位置に合わせ、受枠フランジ上面に置きます



17. 水の計量

計量カップでラウトベース1袋当りの標準水量3.8ℓの水を計量します
但し、気温が25℃以上となる夏場の環境下等では水量を4.0ℓとしてください



硬化時間や発現強度が変わりますので、水量は3.8ℓから4.0ℓを必ず守ってください



18. ラウトベースの混練

- 1) 計量した水をベース缶に入れます。
- 2) 水をパドミキサーで攪拌しながら徐々に材料を投入し攪拌します。



- ・攪拌は必ず約3分を目安に行ってください。
- ・混練には必ず高速回転のパドミキサーを使用してください。
- ・羽根は円盤状のステンレス製を使用してください。



19. ラウトベースの流し込み

- 1) 路盤部にラウトベースを流し込みます。
- 2) 調整部にもラウトベースが確実に行渡るように、充填後軽くかき混ぜてください。



20. 傾斜すり合わせ

- ラウトベースがゲル化後、路面に合わせて木コテにてすり上げ、路面から50mm下がりにるように仕上げてください。



21. 内型枠脱型

- 1) ラウトベースの硬化を確認後、内型枠を外します。
- 2) 閉蓋します。



22. アスファルト乳剤散布(プライムコート)

- 1) アスファルト乳剤を受枠側面と既設アスファルトの切断面に塗布します。
- 2) 塗布後約10分程養生するか、バーナーなどで乾燥させます。



23A. 表層材(固まる君ミックス)の攪拌

お願い 固まる君ミックスは水濡れ厳禁です。
水に濡れてしまうと、硬化不良の恐れがあります。

※コンパネを使用する場合

- 1) 固まる君ミックスの合材をコンパネ上へ敷き均し、スコップの背等で塊をつぶします。
- 2) 硬化促進剤をふりかけ、約1分混練します。(夏季は不要です)
- 3) 硬化剤を均なくふりかけます。
- 4) スコップ等で2～3分間まんべんなく攪拌します。



23B. 表層材(固まる君ミックス)の攪拌

お願い 固まる君ミックスは水濡れ厳禁です。水に濡れてしまうと、硬化不良の恐れがあります。

※モルタルミキサーを使用する場合

- 1) 固まる君ミックスの合材をモルタルミキサーへ投入し、手などで塊をつぶします。
- 2) 硬化促進剤をふりかけ、約1分混練します。(夏季は不要)
- 2) 硬化剤を均なくふりかけ、2分程度攪拌します。



24.表層材(固まる君ミックス)の敷き均し

固まる君ミックスを敷き均し路面から約1.5～2cm程余盛りします。

お願い

・可使時間は20分ですので、迅速に敷き均してください。



25.表層材(固まる君ミックス)の転圧

固まる君ミックスをプレートで十分に転圧し、路面及びマンホールふたと面一になるように仕上げます。

転圧後30～60分養生し、硬化を待ちます。



26.外周部アスファルト乳剤散布

固まる君ミックス硬化確認後、切断外周部にアスファルト乳剤を塗布します。



27.砂撒きならし

乳剤を塗布した部分に撒き砂をまいてならします。



28.表層材(固まる君ミックス)施工完了

